

# 国際的アワード「ISCA」で 「松本俊夫賞」を射止める

## 文教大学

文教大学（埼玉県越谷市）の学生は1月21日、グランフロント大阪（大阪市）で開催された「INTERNATIONAL STUDENTS CREATIVE AWARD 2021 (ISCA)」受賞作品発表会において、「国

内映像コンテンツ部門」で「松本俊夫賞」を受賞した。受賞したのは、情報学部メディア表現学科4年次でデマークに留学中の森田紀さんの映像作品「Survive」。竹林紀雄ゼミナールの授業課題として制作した。

ISCAは、国内外の大学院や大学、専門学校を対象とする国際的なデジタル映像コンテンツのアワードで、海外から75カ国702作品、国内から59校245作品の応募が寄せられた。

今回、森田さんが受賞した松本俊夫賞は、映像作家として先駆的な映像作品を遺した故・松本俊夫氏が評価するだろうという観点から選ばれる賞だ。

作者自身の存在への問いを映像で表現した「Survive」



森田さんが、「今回、松本

俊夫賞をいただけることを本当に嬉しく思います」と、受賞の喜びを述べ、「竹林教授やゼミナールの仲間、文教大のみなさま、そして作品制作をサポートしてくださったイメージフォーラム映像研究所のみなさまにも心より感謝申し上げます。今後も作品の独自性を高めて自分の表現や世界観を持った映像作家になれるように努力を続けていきます」と、意気込みを語った。

作品制作を指導した竹林教授は「森田さんの作品はアイトとしての映像表現に軸足を置いた実写のコマ撮り作品で、撮影における緻密さや膨大な時間をかけてコマずつ撮影する忍耐力が必要です。森田さんの努力が実を結んだことを大変嬉しく思います」と、受賞を称えた。

森田さんの作品は、ショートフィルム（短編映画）の分野で歴史のあるドイツの映画祭「オーバーハウゼン国際短編映画祭」への出品も予定している。